

(9) 伝統的工芸品産業

◆ 概要

京都の伝統産業は、京都の歴史・文化に深く根差したものであり、京都は、伝統産業を基幹産業として、「ものづくり都市・京都」にとどまらず、日本の伝統産業の拠点として発展し続けてきた。

しかしながら、生活様式の変化や海外製品の流入などにより、京都の伝統産業は、大変厳しい状況にある。

京都市では、京都の伝統産業を活性化させることにより、日本固有の文化を守り、発展させ、日本全体の伝統産業を活性化させるとともに、京都のまちを豊かな地域社会とし、京都の経済を活性化させることを目指し、平成17年10月に京都市伝統産業活

性化推進条例を施行した。平成22年3月現在、京都市の伝統産業として73品目が該当する。

また、昭和49年5月に制定された「伝統的工芸品産業の振興に関する法律（伝産法）」に基づき、平成22年3月現在、全国で211品目が伝統的工芸品として国から指定されている。京都府内では17品目が指定され、そのすべてが京都市に存在している。全国伝統的工芸品総覧平成18年度版（平成17年度数値）によると、京都府の伝統的工芸品の生産については、企業数で2,814社（全国に占める京都府の割合16.7%）、従事者数で18,069人（同18.8%）、年生産額で1,115億70百万円（同20.8%）となり、全国首位である〔表Ⅱ-3-9-1、図Ⅱ-3-9-1〕。

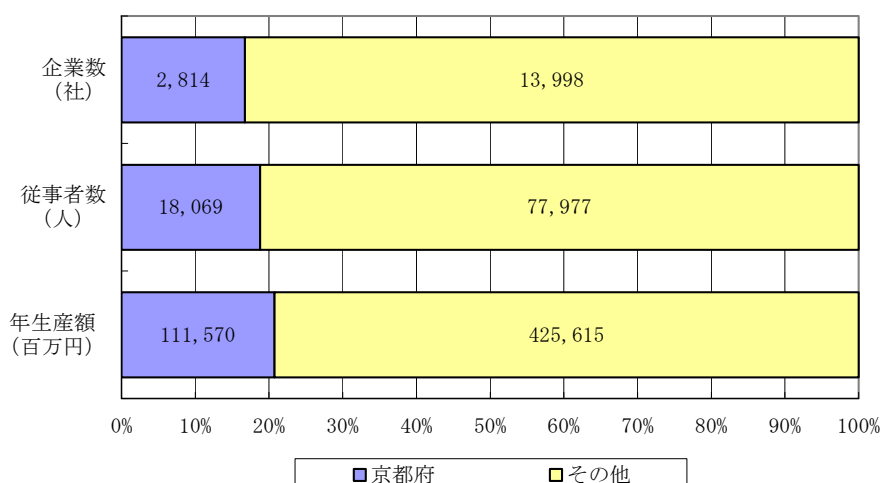
表Ⅱ-3-9-1 伝統的工芸品の品目数、企業数、従事者数、年生産額の
全国に占める京都府の割合

（単位：社、人、百万円、%）

	全 国	京 都 府	構 成 比
企 業 数	16,812	2,814	16.7
従 事 者 数	96,046	18,069	18.8
年 生 産 額	537,185	111,570	20.8

資料：伝統的工芸品産業振興協会「全国伝統的工芸品総覧／平成18年度版」

図Ⅱ-3-9-1 伝統的工芸品の品目数、企業数、従事者数、年生産額の
全国に占める京都府の割合



資料：伝統的工芸品産業振興協会「全国伝統的工芸品総覧／平成18年度版」

なお、一般に「伝統工芸」あるいは「伝統工芸品」と呼ばれるものにはさまざまな捉え方があり、厳密な定義はない。そこで、伝産法に定める「伝統的工芸品」という呼称は、経済産業大臣により以下の要件で指定されている。

1. 主として日常生活で使われるもの
2. 製造過程の主要部分が手作り
3. 伝統的技術または技法によって製造
4. 伝統的に使用されてきた原材料
5. 一定の地域で産地を形成

◆ 京都市の伝統産業一覧

(平成22年3月現在 73品目、網掛け部分は伝統的工芸品 17品目)

西 陣 織	京 友 禅	京 小 紋	きょうかのこしぼり 京 鹿 の 子 紋	きょうくろもんつきぞめ 京 黒 紋 付 染
きょうぬい 京 繡	京 く み ひ も	きょうふさより 京 房 ひ も ・ 撚 ひ も	京 袋 物	きょうさなだひも 京 真 田 紐
京 足 袋	きょうやき きよみずやき 京 焼 ・ 清 水 焼	京 瓦	京 漆 器	きょうさしもの 京 指 も の
額 看 板	北 山 丸 太	京 つ げ ぐ し	竹 工 芸 品	京 弓
矢	きょうつづら 京 葛 籠	金 属 工 芸 品	京 刃 物	きょうぞうがん 京 象 が 嵌
き せ る	金 網 細 工	茶 筒	京 仏 壇	京 仏 具
京 石 工 芸 品	京 人 形	京 陶 人 形	か る た	嵯 峨 面
伏 見 人 形	京 こ ま	京 扇 子	京 う ち わ	ちようちん 提 燈
京 和 傘	京 丸 う ち わ	じんぎしやうぞくちやうどひん 神 祇 装 束 調 度 品	数 珠	薫 香
能 面	わろそく 和 蠟 燭	尺 八	三 味 線	ゆいのうかざり みずひきこうげい 結 納 飾 ・ 水 引 工 芸
京 表 具	京 版 画	京 す だ れ	しきしたんざくわほんちやう 色 紙 短 冊 和 本 帖	唐 紙
花 かんざし	菓 子 木 型	ほうがつきいと 邦 楽 器 絃	調 べ 緒	きりかね 截 金
か つ ら	京 た た み	京 印 章 < 印 刻 >	京 銘 竹	造 園
伝 統 建 築	念 珠 玉	はんぶせい 帆 布 製 カ バ ン	工 芸 菓 子	清 酒
京 菓 子	京 漬 物	京 料 理		